クローズアップ ⑨

菅野　千恵（ちえ）さん（46歳）
南方町・青島

聴覚障害者を支える手話通訳者

「手話通訳をしていて、一番喜びを感じるときは、言葉だけではなく、気持ちも通じ合えたときですね」と語る菅野さん。現在、宮城県登米保健福祉事務所で手話通訳員として週3日勤務しています。

手話通訳員は、耳の聞こえない人が行政手続きをするときや生活のさまざまな場面でのコミュニケーションを支えています。

小さいころから手話に興味がありましたが、本格的に手話を始めようと思ったのは、平成6年に南方町社会福祉協議会（当時）の手話講座に参加したときでした。その後、「南方手話サークル」に入会。平成11年4月からは、県迫福祉事務所（当時）に非常勤手話通訳相談員として採用され、その後も4年間、週に1度仙台に通って勉強を続けました。

平成14年には市内でただ一人「宮城県手話通訳者」として県の認定を受けました。以来、みやぎ通訳派遣センターなどから要請を受けて、各地で通訳活動をしたり、市内の小中学校の総合学習授業に耳の聞こえない人と一緒に参加したりしています。

「手話通訳の仕事は、まだまだ広く認知されていません。今後も活動を続けることで手話通訳を理解してもらい、耳の聞こえない人の生活や地位の向上につながればうれしい。今後、通訳者仲間がもっと増えることも期待しています」と今後の抱負を話しました。

森小学校の総合学習に参加する菅野さん

文芸コーナー

短歌

熊笹の葉末の雪は時折に
はね返りつゝ雪降り続く
宮崎キエ子（東和）

我が夫の寝息を背にたしかめて
八十路の夫婦明日の無事祈る
千葉　チズ（米山）

紅葉の山の傾りを逆光の
中より見れば鮮に照る
千葉　秀雄（南方）

つゆ霜の降りて落葉の美しく
来る友待ちて掃かずに置きぬ
佐々木せい子（迫）

風花の舞い散る夕べ飛ぶ白鳥の
鳴く声旋律は明日への躍動
丸山　米子（東和）

雪解けの屋根より落ちる雨だれに
山茶花の蕾紅の色増す
佐々木とみゑ（中田）

葉の落ちし葡萄の枝のおちこちに
実の小さきが冬の日を受く
遠藤　敦子（中田）

雪解けの零とどめて山茶花の
八重の花びら紅匂う
熊谷たかよ（中田）

草引く手ふと見上ぐる目の前に
優し目をする狸一匹
鈴木ふみ子（中田）

百寿会出湯「あらお」の研修は
みのり多かり時を忘れぬ
加藤あや子（中田）

夜なべして作るほし柿間に合うか
正月を待つ孫らの許に
本宮やつの（中田）

曾孫たちのはしゃぐ笑顔に囲まれる
新年迎うと胸のふくらむ
熊谷てる子（中田）

サークル紹介 ⑨

津山創作太鼓

「４段打ち」の練習をする津山創作太鼓の皆さん

「子どもたちといっしょに舞台に立って演奏できる喜びは言葉にできません」と話す林さん。

昭和58年に当時東京で和太鼓演奏活動をしていた人の帰郷がきっかけで、仲間４人で町おこしと活性化を目的に「津山創作太鼓」を結成。当初は演奏道具がなく「つやま打囃子（ばやし）保存会」から道具を借りて活動を開始しました。

これまで創作した曲は約６曲で、市内の各種イベントや県・東北和太鼓フェスティバルなどに参加しています。

会員は町内の12歳から52歳までの12人。毎週水曜日と木曜日、午後７時から９時まで、津山林業総合センターで練習しています。

６人一組で演奏する「４段打ち」や８人一組の「８段打ち」などに力を入れて練習に励んでいます。昨年の11月からは、小学生以下の子と親を対象とした和太鼓体験を行っています。

また、地域芸能の伝承活動も行っており、８年前から、柳津小３年生に学習発表会で披露する「つやま打囃子」の指導もしています。

「子どもたちの伝統芸能への関心を高め、伝承活動をする意欲を持ってもらえればうれしい。学校の太鼓で興味を持った子は、会に入って和太鼓の楽しさを感じてもらいたいです」と林さんは話します。

興味がある人は、林さんまでご連絡ください。

代表　林　三治（みつはる）さん
津山町・本町四丁目
連絡先　0225（68）2132

俳句

干柿をつるしてくれる人のあり
吾家の軒にも風物詩見ゆ
伊藤　泰子（迫）

木の葉掃きえらびて送る押葉用に
落葉まだ残る命の彩ありぬ
亘理　幹子（東和）

長らへて日毎増えゆく木の葉髪
木の葉髪旅の土産に黄楊の櫛
佐々木百合子（津山）

神の旅留守の社の庭を掃く
水底に鰭のたしかや小六月
岩渕　末子（中田）

首無しの地蔵を包む落葉かな
三冬月華やぐ街となりにけり
佐々木つね子（中田）

凩の我が物顔や過疎の町
小春日や母日溜りのごとく居り
佐々木みつゑ（中田）

さよならと足音遠く落葉舞ふ
早早に戸締りをして時雨月
小平　華子（東和）

命日や只黙黙と落葉焚く
割烹着似合ふ妻居る師走かな
二階堂良亮（中田）

石川　敦子（中田）
畠山菜穂子（中田）
根本　文子（東和）
小野寺郁夫（中田）
大泉けい子（中田）
小野寺智子（迫）
五十嵐進太夫（中田）

※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか１カ月１作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入してご応募ください（作品には必ず読みがなを付けてください）。応募者多数の場合は抽選で掲載しますのでご了承ください。

【あて先】〒987－0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目６番地１
登米市総務部総務課広報係
☎0220（22）2090
FAX0220（22）9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp